

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
北町	H30. 7. 13	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、警察署、介護サービス事業者等	37人	【テーマ】 高齢者の地域での見守りについて 【目的】 ・地域の課題を関係者で共有し、解決に向けた検討を行う。 ・ネットワーク構築に向け、連携体制を強化する。	・高齢者見守りネットワーク、訪問支援事業、警察署による「ふれあいポリス」等、地域の見守り体制を確認することができた。 ・立場や役割によって、見守りや気付きのポイントが異なることが分かった。 ・町会・自治会からは、高齢者の見守りでおかしいと思った際の連絡先が分かったとの意見があった。
練馬キングス・ガーデン	H30. 9. 12	民生委員、町会・自治会、認知症カフェ、介護サービス事業者、警察署等	38人	【テーマ】 認知症の方と地域で暮らすために 【目的】 認知症の方々にどのようなイメージを持っているか、認知症の方々にどのように地域でともに暮らしていくかについて検討する。	・地域の様々な立場の関係者で交流を持つことができたほか、認知症に関して多様な視点があることを再認識できた。 ・地域包括支援センターと民生委員、町会・自治会の方々とのより緊密な連携の必要性について確認した。
田柄	H30. 6. 15	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、医療機関、介護サービス事業者、消費生活センター、警察署、消防署等	59人	【テーマ】 平成30年度業務報告および高齢者の消費者被害等について 【目的】 ・介護保険法改正、地域包括支援センターの体制見直し等について報告する。 ・高齢者の消費者被害および防災についての注意喚起を行う。	・「自分は大丈夫」と思っているが、詐欺手口は年々巧妙になっており、すべての人がだまされる可能性があることが分かった。 ・消費者被害について、詐欺商法の手口が巧妙になっていることを知り、いかにだまされないようにするか、どのような対策をとるか、また地域の見守りが重要であることを確認した。
練馬高松園	H30. 4. 19	民生委員、介護サービス事業者、訪問支援協力員等	33人	【テーマ】 地域での防災の備えについて 【目的】 ・地震のときの避難方法等について話し合う。 ・練馬区浸水ハザードマップを配布し、水害時の避難について話し合う。	・避難や安否確認の方法などをお伝えすることができた。また、福祉避難所について情報共有することができた。 ・以前全戸配布された「災害時安否確認ボード」を、高齢者世帯に再度配布して欲しいとの意見があった。
光が丘	H30. 7. 30	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、見守り協定団体、介護サービス事業者、社会福祉協議会、はつらつセンター、NPO法人等	52人	【テーマ】 キーパーソン不在の高齢者の支援について 【目的】 今後増えるであろう身元保証問題（成年後見制度、入院入所時の保証人・身元引受人問題）について考える。	・入院時や施設入所時の保証人や身元引受人、逝去後の手続きや葬儀の手配等で困っている方がいるので相談したいとの意見があった。 ・経済的に身元保証支援サービス等の利用が難しい方への支援について、今後検討が必要とのご意見もあった。
高松	H30. 6. 27	民生委員、訪問支援協力員、薬局、介護サービス事業者等	24人	【テーマ】 関係機関のネットワーク構築、地域包括ケアシステムの推進 【目的】 ・地域関係者の顔の見える関係づくりの推進およびセンターの事業内容について共有する。 ・薬剤師より「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師との上手な付き合い方」についてお話をいただく。	・参加者からは、薬剤師からの情報提供について、「最近、認知症独居の方の服薬支援で悩んでいたのが参考になった。」「日めくり服薬カレンダーの活用方法など、全て今までで一番良い内容だった」等の意見があった。
第3育秀苑	H30. 7. 31	民生委員、町会・自治会、駐在所、介護サービス事業者、生活支援員、区民防災課等	26人	【テーマ】 センター担当地域の地域課題の把握、共有、ネットワーク構築 【目的】 ・水害対策や水害発生時の避難経路等の地域課題について話し合う。 ・高齢者を狙う詐欺等について情報を共有する。	・一部地域で防災無線が聞こえづらいとの意見があった。 ・災害時にどのような指示、命令系統で動くかが明確化されていない課題が明らかになった。 ・避難困難者を地域で救助するために日頃からどのように顔の見える関係を作っていくべきかを考える契機となった。